



みんなでできること、自分にできることを考えるきっかけに

shizude
#TRYSDGs!

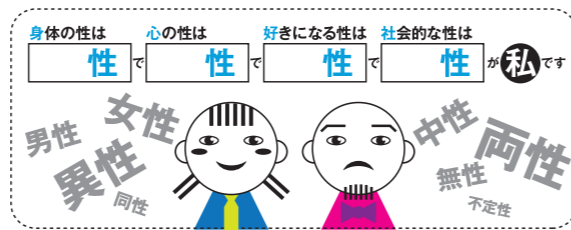
“性はグラデーション”

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)は約5~8%。 30人クラスでは1~2人はいる計算に。

姿形や性格が一人一人違うように、性の在り方も一人一人違います。「性ははっきり分けられるものではない=性はグラデーション」という新しい常識のもと、個人の在り方を尊重し認める時代に入っています。シズデにも500名近くの学生と150名近くの教職員・講師陣が在籍します。他者には隠していたり見た目では分かりにくいので存在に気づくことはあまりないかも知れませんが、私たちはすでに同じ世界で暮らしています。まずは大人が正しい知識を身につけ「差をつけて別けない」意識を持ち、性の多様性を受け入れましょう。

性には4つの要素があり掛け合わせは無限大
人の数だけ性の在り方があるのです

ジェンダーは男と女の二択ではない



- 1 身体性 Sex**
染色体、性腺などから判断できる生まれながらの生物学的な性。
- 2 心の性~性自認 Gender Identity**
身体性に関係なく、自分が感じ認識する性。
- 3 好きになる性~性的指向 Sexual Orientation**
身体性や性自認に関係なく、恋愛感情および性的対象がどの性別に向いているか。
- 4 社会的な性~性表現 Gender Expression**
身体性や性自認や性的指向関係なく、どのような性として自分を表現したいのか。
社会から求められる“性役割”(「男だから~」「女だから~」と性別によって社会的に期待されている振る舞い)と、“性表現”(本人が望む服装や髪型、話し方、しぐさなどの振る舞い)が一致するとは限らない。

例えばこんな掛け合わせがあります

- ▶ 男性もしくは女性で生まれたが、心の性が反対の性同一性障害の学生^{※1}
→名簿の名前を男性名もしくは女性名へ変更し在学中はその名で呼名~本人の申告通りの性別で徹底対応
- ▶ 男性で生まれ男性として女性に恋愛感情を抱く、異性愛者の男性学生
→性表現が女性的美意識の体現~化粧品美しい体型やファッションを意識したジェンダーレスな生き方を応援
- ▶ 大多数の学生はシスジェンダー&ヘテロセクシュアルでありセクシュアルマジョリティ(性的多数者)のストレートである
→この多数者が「性の多様性」の知識と「違い」を受け入れたら、少数者は生きやすくなるのではないかと~教育機関の役割

※1 性同一性障害/身体性と性自認のずれに苦悩し、自分の性に対して強烈な嫌悪感を抱く人にあてられる医学的な診断名
※2 シスジェンダー/身体性と性自認が一致して違和感がない人、ヘテロセクシュアル~異性愛者/異性に対して性的な感情を抱くセクシュアリティ

セクシュアルマイノリティの学生はまわりの無理解で人知れず傷ついたこともあったかも知れませんが、自己否定を自己肯定に変えられる自由校風と教育方針を持つシズデにできることは何でしょう。

セクシュアルマイノリティの学生が自尊心を失わず今も、これからも生きていくには、「違って当たり前」をまわりが理解し尊重する環境作りが大切です。まずは私たち教員で学び合い教育に活かしましょう。

- **男に教える、女に教える、のではなく、人に教える**
→性差で教育内容は変化しない 誰が学生であろうが対応は常に平等である
- **本人が伝える性や性的指向、性表現を支持し尊重する**
→性自認は他人がとやかく言うものではなく正しいも誤りもない ありのままを受け入れる
- **結婚して子供を作る事が幸せ、と何気に口にしていませんか? 人生設計は多様で「これが正解」はありません**
→男と女が結婚して子供を作りマイカーと家を購入する「人生ゲーム」は今は昔の価値観
→結婚してもしなくても子供がいなくても個人が感じる幸せの度は変わりません

ホモ おかま あっちゃん? レズ
おねえ
これらは差別的な用語になります
学生は教員の言葉をしっかり聞いています
子ども同士より大人の言葉に傷つくことが多い
調査結果もあります

point of view

- 捉え方も千差万別、深く傷つく子もひらりとかわす(ように見える)子もいますが、本心は本人にはわかりません。
- 男女差別と個人資質による指導差別は違うので、そこは今まで通りの指導をお願いします。
- セクシュアルマイノリティの学生への対応をまわりの学生は見ています。私たちがお手本です。
- 言葉狩りではありません。ほんの少し気を使うことで傷つく学生が減り、相互理解が進むことを目指しています。
- こんな資料配布こそ差別と思われるかも知れませんが、まずは知識の共通理解から始めたいと考えております。

※アウティング[他人のセクシュアリティを許可なくバラすこと]しない ※セクシュアルマイノリティに対する差別発言を見聞きしたら注意し合う

LGBTに代わる新たな呼称「LGBTQIAPK+」

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)の多様化

L	レスビアン Lesbian	自分を女性であると自覚している人による女性への同性愛者
G	ゲイ Gay	自分を男性であると自覚している人による男性への同性愛者
B	バイセクシュアル Bisexual	男性女性の両性を愛することができる人~両性愛者
T	トランスジェンダー Transgender	身体的な性別と心の性別が一致しない人~性別越境者
Q	クエスチョニング Questioning	性自認や性的指向を自問している人、または自分の性を明確に定義しない人のこと
Q	クワイア Queer	性的少数者を包括する概念 ※3
I	インターセックス Intersex	生殖器や性的な構造において医学領域で両性具有・性分化疾患などをもつ人のこと
A	アセクシュアル Asexual	自分以外の他人に恋愛感情や性的な欲求を抱かない人のこと~無性愛者
A	アライ Ally	ストレートだが性的少数者のコミュニティを支持している人のこと
P	パンセクシュアル Pansexual	自分や相手の性に関係なく愛情を抱いた人に性的欲求を持つ人のこと~全性愛者
K	キンキー Kink	特殊な性的嗜好を持った人のこと
+	プラス Plus	LGBTQIAPKに当てはまらない様々な立場の人たちを含めた総称

※3 「クワイア」は「風変わりな」という意味で性的少数者を蔑む言葉だったが、当事者たちが「私たちは風変わりではない」と肯定的に使い始めたため、前向きな意味としての概念に変化した。

学校法人 静岡理科大学
静岡デザイン専門学校

information

シズデ生相談窓口/ただいま学内にて協議中です
教職員・講師陣のみなさまからのご質問等相談窓口/久保田校長まで